



学校だより

浜小HP <http://www.ama-net.ed.jp/school/E15/index.html>

令和元年5月24日(金)
尼崎市立浜小学校
校長 中根 孝介
06-6499-1536



No.5



明るく 元気に育つ 浜っ子

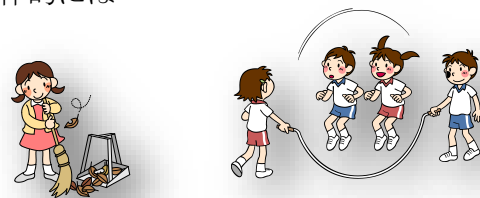


5月も半ばを過ぎ、さわやかな風が通り抜けるようになりました。浜小学校では、子ども達の「おはようございます」「こんにちは」という元気なあいさつが以前に増してたくさん聞こえてくるようになりました。あいさつとあわせて、にこやかな笑顔もすばらしく、とても素敵な感じを受けます。明るく元気な浜っ子がぐんぐんと成長しつづくと実感しています。

5月に入り、多くの学年で校外行事がありました。修学旅行や遠足に行ったどの学年も、ただ行事を楽しむだけでなく、ルールやマナー、約束をしっかりと守ろうという気持ちがたびたび見られました。周囲で見てくださった他の方からも「子どもらしくて、マナーもよく、すばらしい子ども達ですね」というおほめの言葉をいただくこともありました。来週は、5年生が自然学校に行きます。4泊5日の集団生活ですが、5年生のすばらしい行動を期待しています。

今も昔も育児に悩むことは多いです。家庭で、明るく元気な心を育むには、周囲の大人からの「たっぷりとした愛情」がなくてはなりません。具体的には・・・

- ① 子どもの話を十分に聴く。
- ② 適度なスキンシップをする。
- ③ 子どもを「ほめる」「認める」
- ④ 子どもに「感謝する」
- ⑤ 上手に「しかる」



などがあげられます。

ひとくちにこのように言われますが、実際には、どんなときに、どのように、ほめ、認め、感謝し、しかるのかは、難しいことです。特に「しかる」ときには・・・

- ・頭ごなしにしからない。
- ・まずは、子どもの主張を聴いて、受け止める。
- ・なぜいけないのか理由や大人としての思いや意見を伝える。
- ・要点をまとめて、短く、簡潔に伝える。

などの事柄に注意することが大切です。ついつい、頭ごなしにしかってしまいがちなこともあります。危険を伴うこと以外では、一息待つことも大切です。それぞれの家庭の状況や子どもさんの様子も異なるとは思いますが、ねばり強く取り組んでいただければと思います。

「習慣は変えることができる」

「習慣は変えることができる」という言葉を聞くことがあります。「生活習慣病」という言葉を定着させ、100歳をこえてもなお現役医師として活躍された日野原重明氏(2017年没)も同様の言葉を述べられています。

基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯・あいさつ・時間割をあわす・宿題や家庭学習・身の回りのかたづけ・歯磨き等々)を身につけることが大切なのは言うまでもありません。しかし、こうしたことが必ずしも身につけていないことがあります。よい習慣を身につけるためには、本人のちょっとした努力が必要です。

はじめは、意識をして実行します。それを続けていると、いつの間にかそれが当たり前のことになり、努力しなくてもできるようになります。そこで習慣が身についたということになるのです。まさに「習慣は変えることができる」のです。

特に、子どもがよい習慣を身につけるためには、周囲の大人の支えも必要です。よい環境(道具や雰囲気)を準備する・声かけをする・励ます・努力を認める・ほめる・大人がよい見本を見せるなど、学校でも根気よく取り組んでいきたいと思ひます。6月には生活がんばり表チェック週間も予定しています。ご家庭でもご協力をよろしくお願いしします。



時間割

《給食メニューの一部変更について》

1年生の給食が始まり、約1ヶ月が過ぎました。給食室では、機械を使って食材をカットしたり、大きな釜で炒めたりして安全で安心な給食、おいしい給食の提供をめざしています。しかし、焼き物や蒸し物などを調理するのに長年使われているスチームコンベクションオーブンという機械の調子が悪く、現在うまく作動していません。修理を依頼中ですが、しばらく時間がかかる見込みです。

つきましては、しばらくの間、給食メニューの一部について調理方法を変更して提供することがあります。なお、27日の変更例のように、調理方法の変更のみで、食材については大きな変更はございません。今後とも、食物アレルギーにも配慮し、教育委員会や給食協会とも連絡を密にしながら、対応していきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【変更例】 5月27日(月) 蒸しシューマイを揚げシューマイに変更予定

